

1 岡山市戦没者追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳事名：岡山市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む

会場：岡山市民会館  
(岡山電気軌道「城下」電停 徒歩3分)

日時：平成24年6月29日(金) ※例年6月29日開催

参列者数：1,600人

連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)

式次第 (平成24年度)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 開 式      | 9. 献 花       |
| 2. 一同拝礼     | 10. 電報披露     |
| 3. 開式の辞     | 11. 平和都市宣言朗読 |
| 4. 戦災死者名簿奉納 | 12. 遺族代表謝辞   |
| 5. 国歌斉唱     | 13. 閉会の辞     |
| 6. 黙とう      | 14. 一同拝礼     |
| 7. 式辞       | 15. 閉 式      |
| 8. 追悼のことば   |              |

式 辞 (平成24年度)

本日、ここに、ご遺族並びにご来賓の方々をはじめとする多くの市民の皆様のご参列をいただき、平成24年度岡山市戦没者追悼式を執り行うに当たり、戦禍の犠牲となられた方々の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、ひたすら祖国の安泰と繁栄を願い、郷里のご家族のことを想われながら、速く離れた戦場や異郷の地において命を落とされた方々、また、戦地に赴かれたお身内を案じつつ、貧しく苦しい生活の中、戦災によって亡くなられた方々などかけがえのない多くの命が失われました。

今、ご遺族の皆様を前にして、そのご心情に思いを致しますとき、万感胸に迫るものがございます。岡山市は、今から67年前の6月29日未明に、市街中心部を目標とした空襲を受け、ふり注いだ焼夷弾によって当時の市街地の大半が焼失しました。

そして人々は、空からの焼夷弾と四方から迫りくる炎に逃げるいとまもなく、多くの方がいたるところで負傷し、あるいは亡くなられました。

今は静かに流れる旭川、西川も、避難した人々や、やけどを負い、水を求めて飛び込み力尽きた人々で溢れていたと聞いております。

また、戦後においても、物資と食糧が極度に不足し、厳しい生活が続く中、最愛のご家族、住み慣れた住まいなど、生きる拠りどころを失われた皆様には想像を絶する想いやご苦労があったことと存じます。

しかし、市民の皆様は、この厳しい状況の中、深い悲しみを胸に秘めつつ、幾多の困難を乗り越え、未来へ向けて、復興への力強い一歩を踏み出されたのでございます。

現在の平和と繁栄は先人の方々の尊い犠牲とたゆみないご努力の上に築きあげられたものであり、ここに深く敬意と感謝の気持ちを捧げます。

また、ともすれば、過ぎ行く年月が、戦争の悲惨さや復興の歴史を薄れさせる中で、痛ましい過去を風化させることなく、次の世代に語り継ぎ、先人によって築かれた平和と繁栄を守り、継承していくことが、私たちに課せられた使命であると確信いたしております。

本市では、岡山市都市ビジョンに掲げる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」の実現を目指しておりますが、こうしたまちづくりの基礎となるのが、恒久平和であり、「平和を希求し続ける都市」として、その大切さと尊さを、私たちが次世代へ語り継いでいかなければなりません。

これからも、過去の歴史から得た多くの教訓を改めて心に刻み、平和で安全・安心に暮らせる郷土・岡山の発展に、市民の皆様とともに力の限り取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

本日の式典に臨み、戦死者並びに戦災死者の方々の御霊の安らかならんことを、また、ご遺族の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、式辞といたします。

平成24年6月29日  
岡山市長 高谷 茂男

2 戦災の碑



基本情報

所 在： 下石井公園内  
 住 所： 岡山県岡山市北区幸町  
 (JR岡山駅 徒歩15分)  
 連絡先： 岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)  
 建 立 者： 岡山市  
 建 立 年： 昭和55年6月29日

碑 文

【表】

戦災の碑

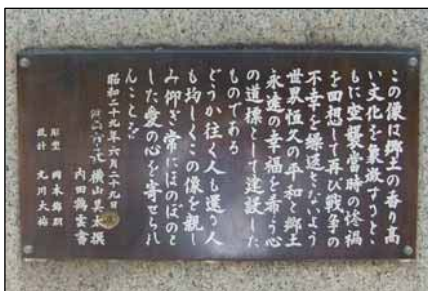
昭和55年6月29日建立

【裏】

太平洋戦争末期の昭和二十五年六月二十九日午前二時四十分頃から約二時間にわたり岡山市はアメリカ空軍のB29約七十機の焼夷弾攻撃による大空襲を受けました。その被害は当時の市街地の七十三パーセントにあたる約七、六平方キロメートル(二百三十万坪)が廃墟となり、死者千七百三十七人、負傷者六千二百六十六人に達しました。また罹災者は十萬四千六百六十六人(二万五千二百三戸)に及び全国八十三罹災都市中第八位にランクされる深刻さでした。あれから三十五周年、この間市民の方々の復興に対するたゆみない熱意と努力によって、当時想像もなし得なかった全国有数の近代都市として発展をつづけております。時は流れ世代の交代にともなう戦禍の記憶と認識はうすれつつあります。戦災三十五周年にあたり再びあの戦争の悲劇を繰り返さないよう、世界恒久の平和と岡山市の永遠の発展と市民の幸福の願いをこめここに戦災の碑を建立しました。

昭和五十五年六月二十九日  
 岡山市長 岡崎平夫

3 平和の像



基本情報

所在：西川緑道公園  
 住所：岡山県岡山市北区平和町5  
 (岡山電気軌道「西川緑道公園」電停 徒歩2分)  
 連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)  
 建立者：岡山市  
 建立年：昭和29年6月29日

碑文

【表】

平和像

【裏・説明文】

この像は郷土の香り高い文化を象徴するとともに空襲当時の惨禍を回想して再び戦争の不幸を繰返さないよう世界恒久の平和と郷土永遠の幸福を希う心の道標として建設したものである  
 どうか往く人も環る人も均しくこの像を親しみ仰ぎ常にほのぼのとした愛の心を寄せられんことを

昭和二十九年六月二十九日  
 岡山市長 横山晃太 撰  
 内田鶴雲 書

彫型 岡本錦朋  
 設計 丸川大祐

4 平和都市宣言記念 平和の像



基本情報

所 在：石山公園  
住 所：岡山県岡山市北区石関町7  
(岡山電気軌道「城下」電停 徒歩2分)  
連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)  
建 立 者：岡山市  
建 立 年：昭和62年3月

碑 文

【台座前】

昭和六十二年 三月  
大桐國光 作

説 明 文

【上】

平和都市宣言記念  
平和の像

【下】

平和都市宣言

真の恒久平和を実現することは、戦災で多くの尊い人命を失い、街を焦土と化した岡山市民のみならず、人類共通の念願である。  
しかるに、核軍備の拡張は、依然として行われ、世界の平和と安全、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。  
我が国は、世界唯一の核被爆国として、核兵器の廃絶を世界の人々に強く訴え、この地球上に広島、長崎の惨禍を再び繰り返させてはならない。  
岡山市民は、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、すべての国のあらゆる核兵器が完全に廃絶されることを願い、平和で幸せな岡山市を築くため  
不断の努力を続けることを誓い、ここに岡山市は平和都市を宣言する。

昭和60年6月25日

岡山市

5 岡山市戦災死者供養塔



基本情報

所在地：東山地区  
 住所：岡山県岡山市中区門田本町3  
 (岡山電気軌道「東山」電停 徒歩15分)  
 連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)  
 建立者：岡山市  
 建立年：昭和30年6月

碑文

【表】

岡山市戦災死者供養塔

【右】

昭和二十年六月二十九日 歿

【左】

昭和三十年 六月建 岡山市

## 6 平和の鐘



※写真提供 倉敷市

## 基本情報

所 在：水島緑地福田公園  
 住 所：岡山県倉敷市福田町古新田  
 （JR倉敷駅より 下電バス「福田運動公園前」下車 徒歩2分）  
 連絡先：倉敷市 総務部 総務課 086-426-3121（直通）  
 建 立 者：倉敷市  
 建 立 年：平成2年5月

## 碑 文

【右・柱】

平和の鐘

## 経 緯

「平和の鐘」建立の主旨

昭和20年8月15日、太平洋戦争は、日本国民はもとより海外の多くの人々に言い知れぬ深い傷跡を残し、悲惨な戦いを終えた。あの日から40数年、私たちは苦難の中から立ち上がり、戦争放棄を国是として、今日の平和で豊かな社会を築きあげた。

本市は、昭和61年9月、世界の恒久平和と倉敷市民の幸せを願い「倉敷市平和都市宣言」を行い、平和への誓いを新たにしました。

このたび、宣言の主旨に沿い、再びあの悲惨な戦争を繰り返すことのないよう祈念し、被災地水島の一角に「平和の鐘」を建立する。

平成2年5月

出典：倉敷市ホームページより

## 7 平和の鐘 打鐘



※写真提供 倉敷市

## 開催概要（平成24年度）

歳 事 名：平和の鐘 打鐘  
 会 場：水島緑地福田公園  
 （JR倉敷駅より 下電バス「福田運動公園前」下車 徒歩2分）  
 日 時：平成24年6月22日（金） ※例年6月22日開催  
 参列者数：約50人  
 連絡先：倉敷市 総務部 総務課 086-426-3121（直通）

## 式 次 第（平成24年度）

- 1.挨拶及び水島空襲の概要説明
- 2.8時36分、平和の鐘を打鐘・あわせて1分間の黙祷
- 3.平和の祈りを込めて、風船100個・鳩14羽をとばす
- 4.8時50分頃、終了

## 式 辞（平成24年度）

なし